2021 年（令和 3 年）8 月 30 日（月）　NO 161 号

K-PURO NEWS

【 事 業 所 】

商　　号	株式会社　ケイプロ	https://k-puro.co.jp
屋　　号	都市防犯プランニング社	mail　info@k-puro.co.jp
本　　社	埼玉県蕨市中央 1-7-1 シティタワー蕨	TEL　048-446-9445
千葉支店	千葉県千葉市中央区新町 1-20 江澤ビル	TEL　043-243-6110

【 業 務 内 容 】

機械警備	弊社のセキュリティプランに SECOM・ALSOK・CSP のインフラを使用
防犯カメラ	周辺環境・建物構造・人的要因・犯罪データを分析し有効適切な位置へ設置
メンテナンス	消防設備点検・工事から AED 斡旋のメンテナンス業務

【 加 盟 団 体 】

RID2770	川口モーニングロータリークラブ	http://kawaguchi-morning.jp/
NPO 法人	さいたま起業家協議会	https://saitama-kk.org/
公益社団法人	千葉東法人会	http://www.chibahojin.jp/
一般社団法人	千葉市中央区倫理法人会	http://www.rinri-chiba.org/
公益財団法人	モラロジー研究所	http://www.moralogy.jp/

【 応 援 団 体 企 業 】

TOHOAUTO INC.

我が国一の歴史と実績 since 1957 公益財団法人アイメイト協会

17 パートナーシップで目標を達成しよう

JPSA 公益財団法人日本障がい者スポーツ協会

今月の言葉　　今、ここから始まる

ひとたび生じてしまった事態は「なかったもの」にすることはできません。
しかし、事態の受けとめ方やその後の対応は、自分自身の心次第ではないでしょうか。
遠い昔に起こったつらく悲しい出来事さえも「あの出来事があったからこそ、今がある」というようにその意味づけを変えることができるのは、私たちの心の力なのです。
日々に起こる出来事のすべてを苦難も含めて正面から受けとめ、常に「今、ここから始まるのだ」という心構えで前向きに歩んでいけたなら、私たちの人生は希望に満ちていくことでしょう。

今月の良い話　　税金なんてアホらしでは伸びぬ

資本金 300 万円で、1000 万円を個人保証していただいて借り、初年度にやっと 300 万円の利益が出たんです。
当時、経理も知りませんでしたから、保証して下さった方に迷惑をかけてはいけないので、
3 年間で借金は返せると思ったんです。
ところが、なんと税金が百何十万円かかり、配当もすると、100 万円ぐらいしか残らない。
借金返すのに 10 年かかるわけです。

・・・

今月の良い話　　智弁和歌山高校野球部の原点

和歌山に来た前年の 54 年というのは県立箕島高校が春、夏の甲子園を連破した年なんです。
一方、自分のところはキャッチボールもまともにできない。
体力づくりのトレーニングをやったら、みんな 10 分間でへたってしまう。
いやあ、えらいところに来たな。これは甲子園に出るのに 20 年かかるなと思いました。
20 年かかるところをなんとか短縮しようと方法を考えたんです。一つは「教えるよりも感じさせる」ということ。このくらいのレベルの選手にいくら技術を教えても消化吸収できないだろう、それなら自分の肌で感じさせたほうが早いなと思ったんです。

要は強いところとゲームをやって、こてんぱんにやられれば、何かを感じるだろうと。
ところが県内の強い高校はどこも相手をしてくれない。
「智辯といったら奈良やろう。和歌山にもあるの？」という返事でね。それで和歌山の学校は諦めて、まず徳島の強豪・池田高校の蔦監督に電話をしたら「すぐに来い」と。
でも、練習試合をしたら案の定ボロ負けです。もうね、30 何点とられるんですよ。
和歌山に帰ってくるまで 3 時間くらいかかるんですが、何人かは途中で悔し泣きしていました。「なんで同じ高校生でこんなんなるねん？」と。
その姿を見た時に、「あっ、これで甲子園は行けるな」と思いました。

ボロボロに負けて帰ってきた次の日にミーティングをしたんです。
そこで「ホームランを打つにはこういうトレーニングが必要や」
「速いボールを打つにはこういうトレーニングをせなあかんで」と話すと、あとは放っておいても自主的にやり始める。
悔しさを覚えると自分で走り出すものなんです。
するとグーンと伸びてくる。それで 1 か月たった頃にまた練習試合をやると、今度は取られても 10 何点です。
それでうちも何点か取るから差が縮まってくる。それから 1 か月練習してまた試合をすると、今度はいい試合になる。2 か月ほどでチームはがらっと変わりました。下手とか上手よりもいかに心の部分が大切かということですね。

高校野球の監督さんは皆そうだと思いますが、世の中に出た時にどう生きていくか、高校野球を通して選手にそれを学んでほしいんです。
壁にぶち当たった時に、苦しい練習を乗り切ったという経験を役立ててほしい。
挨拶であるとか、責任感であるとか、世の中を生き抜いていく時に必要な術をいろいろ学べますからね。一つはさっきも言った「悔しさ」を教えてやるということでしょう。
もう一つは「プレッシャーに負けない」ということです。
プレッシャーに勝たないと自分の力は発揮できません。
だから、普段の練習からいかにプレッシャーを与えるかを考えています。

//

高嶋　仁（智弁和歌山高校野球部元監督）　　記事提供　致知出版社

事件ファイル　NO161　　備災チェックリスト

食品は、家族 3 人が 3 日間過ごすための最低限必要なアイテムです

食品・・・